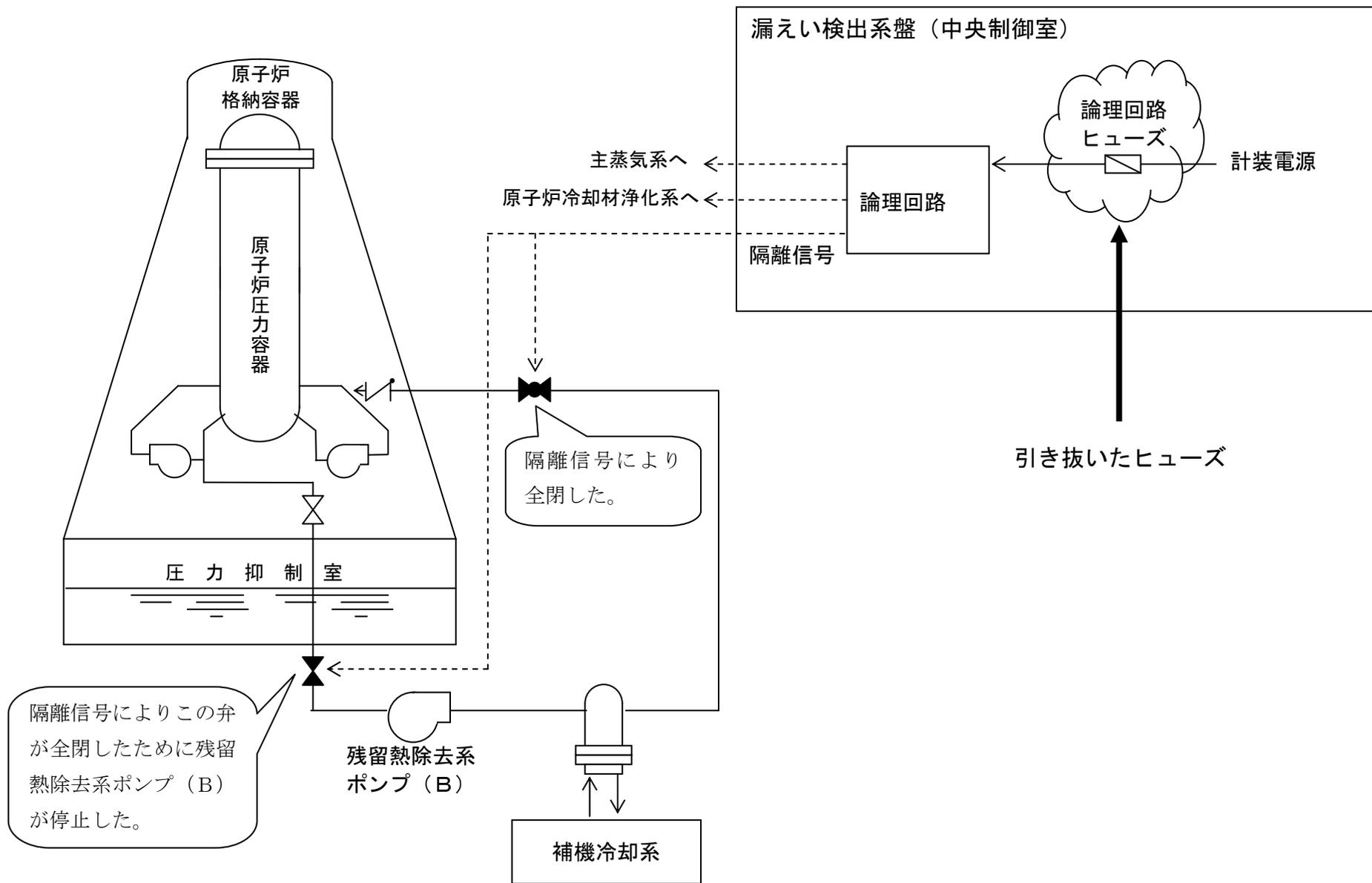


区分：Ⅲ

号機	1号機	
件名	定期検査中の1号機における残留熱除去系に関する警報の発生について	
事象の概要	<p>平成 23 年 8 月 10 日午前 10 時 50 分、定期検査中の当所 1 号機において、残留熱除去系*1に関する警報が発生し、原子炉の崩壊熱を除去するために運転していた残留熱除去系ポンプ（B）が停止しました。</p> <p>警報の発生状況について確認したところ、漏えい検出系*2に関する点検作業のために事前の安全処置として、論理回路のヒューズを引き抜く作業を実施したことにより残留熱除去系の弁が閉止し、これに伴いポンプが停止し警報が発生したことがわかりました。</p> <p>このためヒューズを挿入し、警報が解除されたことならびにその他の異常が認められなかったことから、午前 11 時に停止した残留熱除去系ポンプ（B）を手動にて再起動し、運転に問題がないことを確認しております。これに伴う原子炉の状態に有意な変化はありませんでした。</p> <p>なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>* 1 残留熱除去系 原子炉を停止した後に燃料の崩壊熱を除去したり、非常時に原子炉水を維持するために原子炉へ注水する系統。</p> <p>* 2 漏えい検出系 配管やポンプ等からの漏えいを検知し、警報が発生するとともに漏えいを検知した機器を隔離するための信号を出す系統。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / その他設備</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	今後、点検作業にともなう安全処置の内容に問題がなかったかなど、原因について調査を行います。	



柏崎刈羽原子力発電所 1号機 残留熱除去系 (B) 系統概略図